東山荘だより

あ秋き

（題字は元同盟委員長　故 北村徳太郎 氏）

2011年

発行人・大和田　浩二　発行所・YMCA東山荘　四一二-〇〇二四　静岡県御殿場市東山一〇五二　電話　〇五五〇（八三）一一三三　ファックス　〇五五〇（八三）一一三八

「11月下旬の東山荘」

写真：白鳥　裕之

→さるのつぶやき へ

夕陽（せきよう）の風

5

東山荘所長 **大和田　浩二**

東山荘の秋は、いつの間にか森の木々の間に潜んでいた冷えて乾いた澄んだ空気が、その手を大きく広げるかのようにあたりを包んで始まります。夏の間にはなかなかその顔を見せたがらなかった富士山も、朝晩以外にも端正な顔と姿をくっきりと夕陽の丘や黙想館から眺めさせてくれます。荘内にこだましていた子どもたちの声やざわめきが、いつしか遠いかなたに消えたかのような秋の静けさも訪れてきています。木々は色づき始め、やがて真っ赤や黄金色の木の葉のじゅうたんが、芝生の上に敷き詰められる日を迎えるのです。

まるで火の消えたような3月から5月だった今年の東山荘にも、7月、8月を中心として多くの方々が訪れてくださいました。おいでいただいたことに心からお礼申し上げ、少しでもゆっくりとした心の休養と、これからと明日への元気を得て帰っていただけたなら、この上も無い幸いと思っております。

この夏のいくつかのキャンプの中には、福島や栃木、またその他の被災地の方面から来ていただいたグループやご家族、子どもたちが見られました。

「ここにはおっかない空気ないの、おなかいっぱい吸っていいんだね。」「何ヶ月振りかで、はだしで芝生や土の上を走り回り、笑い転げる子たちを見て、涙が出ました。」

自然にいやされ、元気をもらった人々も、また、あるいはきびしい現実の生活に戻って行かれます。その中でも前を見ながら暮らして行くことの大変さを、私たちはどのように共感できるのでしょうか。

この秋以降も、高齢者の方々や、子どもたち、家族での被災地からの受け入れプログラムは続いて行きます。この方々と共に、これからも歩き続けることのできる東山荘でありますように。

夏季特別プログラム報告

東山荘では国内外の支援を頂き震災ストレスケアのプログラムを実施しました。

三菱商事株式会社には、全国のＹＭＣＡが行う震災ストレスケアプログラムを全面的にご支援頂ける事となり、「三菱商事ＹＭＣＡフレンドシップキャンプ」の一環として、この夏のキャンプが実施されました。そのいくつかを紹介させていただきます。

のびのびキャンプ

①７／22～29：103名
②８／19～26：68名

５月初めに福島市の主婦から頂いた、夏休み中だけでも子供や家族を思いきり遊ばせられないか、というお問い合わせがきっかけで開催しました。

最初は50名枠を予定していましたが、150名を超える応募があり、急遽規模を拡大して２回開催としました。現地説明会に赴いたスタッフは、猛暑の中マスクをして登下校し、外では一切遊べない状況に事態の深刻さを思い知らされました。

７泊８日のゆったりしたプログラムで、途中ふじさんぽや野外コンサート等を挟みながら、プールや箱根観光、アウトレットに行くなど各自が自由に楽しめるよう設定しました。

雨が降っても「ぬれてもいいんだ！」と遊ぶ子ども。土や砂まみれに遊ぶことの出来る環境。今まで当たり前だったことの尊さに気づかされたキャンプでした。

夏の夜の音楽会。大人も子供も楽しめました。（写真右）

チーーッと触るフジアザミ。すごい棘でした。(写真左)

みんなで一緒にBBQ(写真上)

終了後にいただいた「ふりかえりシート」に寄せられた声の一部です。

・「ここは放射線ないんだよね？外で遊んでいいんだよね？」と水たまりにびしゃびしゃと入っていき、雨に打たれ全身水浸しの子ども。何ヶ月ぶりに外で遊んだんだろうと考えてしまいました。

・８歳の娘、１歳３ヶ月の息子が青空の下、走り回ったり、芝生の中を寝そべったりして笑っている姿を見られて涙が出るほどうれしかったです。ぜひ来年も企画してください。

・初日、到着直後に広場を散歩しながら小１の子供が「土を触っていいの？」と確認した後、うれしそうに砂いじりをしていた姿を見て涙が出そうになりました。

まだまだ大変な道のりが続きます。これからも、東山荘に何が出来るかを考え、子ども達のたくさんの笑顔が見られるようなプログラムを実施していきます。

花火も盛り上がりました。(写真上)

草笛の練習中。上手に音が出たかな？(写真上)

こども音楽会。自作の楽器で演奏しました。(写真

軽石でお絵描き。ふじさんぽの楽しいお土産です。(写真右)

自由時間には自転車が大人気。本館前ロータリーをぐるぐるぐるぐる…(写真左)

キャンプファイヤーこの火がみんなの心に温かく灯り続けることを祈っています。(写真右)

リーダーに引っ張ってもらうおしりすべり。体中で富士山を満喫しました。(写真上)

砂の斜面を豪快に駆け下ります。(写真右)

プロジェクト結アカデミーキャンプ

①８／８～12　②16～20　③21～26

プロジェクト結が中心となり、キャンプを開催しました。慶應義塾大学、駒澤大学の先生や学生、公益団体、ＮＰＯ、アスリート、企業そしてＹＭＣＡが連携して様々なアクティビティを企画展開するキャンプです。

日頃なかなか目にすることのない知的好奇心をくすぐる領域の技術や知識に触れることが出来ました。「世界初のデジタル地球儀に触れよう」「ロボットはいつか心を持つのかな？」「衛生を使ってインターネット」の他、「ミニバイク＆テコンドー体験」など身体を使うプログラムも体験。いつもの東山荘では味わえないような企画も多くありました。

子ども達も、ボランティアリーダーのサポートを得ながら、好奇心で目をきらきらさせて夏の東山荘の生活を楽しみました。

ＹＭＣＡの力だけでは行えない、広がりのあるキャンプを実施することが出来ました。横のつながりを大切にしながら、子ども達を支援するキャンプ、プログラムも大切にしていきたいと考えています。

※プロジェクト結については左記ホームページをご参照下さい。
プロジェクト結http://project-yui.org/

シャボン玉大会で大盛り上がり♪
こわれにくい特別配合のシャボン玉液で遊びました。(写真下)

万華鏡で何が見える？(上)

東山荘に来たらやっぱりふじさんぽ！

BBQのスイカは格別！！(写真上)

テコンドー教室(写真左)

御殿場市内の小学校からお借りした「カプラ」を大人の背よりも高～く積み上げて。(写真上)

おやこリフレッシュキャンプ　8／20～21

栃木から様々な障がいを持つ人とその保護者・介助者で構成された50名のおやこが集まり、富士山麓でのひと時を分かち合いました。

小雨のぱらつくキャンプファイヤーでは、各自が身体の動かせるところを目一杯に動かして踊ったり歌ったり。

翌日は富士山須走口五合目で、小富士周遊コースと古御嶽神社往復のんびりガイドウォークの二手に分かれて夏の終わりのふじさんぽを満喫しました。笑顔の絶えない暖かい交流が生まれました。

森林浴を楽しみながら1,2,ふじさーん！(上)

楽しい2日間を分かち合った仲間達と。(写真上・下)

小富士頂上にて。苔むした小道の柔らかな感触から火山砂礫の荒原へ。変化に富んだコースをのんびり歩きました。(上)

色も形も様々なキノコ達にも出会いました(右)

緑滴るコウモリソウとカニコウモリ(右)

富士山ぐうぐうキャンプ

ゴールドマン・サックス証券株式会社の全面支援の下、聖路加国際病院形成外科との協働により、小さな頃から治療や入院を繰り返して、キャンプなどの野外活動経験のない子供達のために企画・実施しました。

キャンプ初日、緊張した面持ちで聖路加国際病院に参加者が集まってきました。キャンプ中の子供と大人が別々に生活をするスタイルに不安を覚える子ども、大人も多かったようです。その不安を吹き飛ばすのがＹＭＣＡキャンプリーダーの仕事。笑顔で寄り添いながらグループの雰囲気を盛り上げていき、東山荘に着く頃にはみんなニコニコになっていました。キャンプ中は芝生でのプール遊び、ふじさんぽ、花火大会、キャンプファイヤーなど盛りだくさん。特に大人グループが仲良くなりすぎて、夜中に星を見に行って帰ってこなかったりと、今までにない体験をたくさんして頂いたと思います。キャンプには人と人をつなげ、心を豊かにさせる効果があります。さまざまな理由で野外活動体験の機会のない子どもたちもまだまだたくさんいます。そのような子ども達に一人でも多く来てもらえるような東山荘を目指します。

★秋冬のフレンドシップキャンプ予定

◎おやこリフレッシュキャンプ◎
- 11月11日（金）～13日（日）
- 1月6日（金）～8日（日）※予定

◎年末年始家族パーティー
12月30日（金）～1月4日（水）
※開催期間中に10組をご招待します。

※三菱商事株式会社のご協力により、
対象者は上記各プログラム参加費が
無料となります。

各プログラムのお問い合わせは･･･

ＹＭＣＡ東山荘
〒412-0024　静岡県御殿場市東山1052
TEL0550-83-1133／Fax0550-83-1138
HP:http://www.ymcajapan.org/tozanso/

主催プログラム通信

こどもチャリ登山キャンプ　8／15～19

こども富士登山キャンプ　8／16～19

とびっきりのチャレンジプログラムを敢行しました。東山荘から富士山頂を往復する「こどもチャリ登山キャンプ」は自転車で東山荘から須走口ふじあざみラインを漕ぎ上がり、急勾配は徒歩の旅。３日目からは「こども富士登山キャンプ」のメンバーも合流して馬返しから富士登山をしました。

本七合目見晴館を拠点とした山中２泊のプログラムで、遠くの雷雲が提灯のように光り、流星がたくさん見られた夜も、息を呑むようなご来光も２回ずつ満喫しました。余裕のスケジュールでおはちめぐりもゆっくり楽しみました。

登山途中の森イチゴ狩り、アマツバメの群れが高速で飛ぶ姿、遠くから手を振る下山者達、中腹でも山頂でも出会った蝶「アサギマダラ」や「キベリタテハ」にも励まされ親しい気持ちになりました。

周囲の登山者に驚かれる程こども達は始終元気そのもの。全員笑顔で登頂し無事下山してきました。チャリンコ隊は馬返しから20㎞を途中の買い食いタイムも満喫しながら完走しました。

日本最高所「剣ヶ峰」を目指します。ここでもおしゃべりしながら(写真上)

富士登山を控えても、にこやかに片手を挙げるこの余裕。(写真右)

買い食いタイムで鋭気を養って(写真左)

早暁の中に佇むこども達。荘厳な美しさとの出会いです。(写真上)

旅をする蝶 アサギマダラ(左)

黄色い縁取りが素敵な キベリタテハ(右)

こどもチャリンコキャンプ
海と湖と川　水辺をめぐる自転車の旅
10月8日(土)～10日(月)

自転車小僧達が集まって、狩野川30km、沼津千本浜海岸線45km、芦ノ湖1周23kmの旅をしました。人出の多い3連休でしたが、自転車で行き交う人はまばらで、あちこち寄り道を楽しみながら走破しました。芦ノ湖畔のハイキング道は悪路が多く、重い自転車を引き上げることもありましたが、無事に終わってみればそれも特別に楽しい経験となりました。

杉木立の中を風のように走り抜けるこども達(右)

玉石の美しい千本浜で一休み(上)

牛伏・ダウンヒル(左)

感　　謝

1044件　４３，１７８，５０７円　2011年9月末現在

いつも東山荘に熱き思いをもってご協力頂き感謝です。皆様のお支えによって、今後も多くの特に青少年に貴重な体験と出会いの場として与えられた使命を果たしていく決意をしております。いよいよ本館、斉藤記念館(１号館)の改装を中心とした第二次計画を始めます。

創立100周年(2015年) に東山荘が皆様のご期待にそえる施設となりますよう、益々のご協力をよろしくお願いいたします。

募金担当　石田　恩

さるのつぶやき

四季のうち、自然がその姿を最も劇的に変化させるのが秋です。東山荘では秋の実りは9月上旬のヤマボウシに始まり、カヤ、コブシ、クヌギ等々…という順番で、うまい具合に少しずつ時期をずらして次々に実り落ち、11月下旬までの長い期間私たちを、特にこどもたちを大いに楽しませてくれます。

また紅葉は10月初旬のケヤキに始まり、コナラ、ハクモクレン等々…という順番でこれまたうまい具合に時期をずらして次々に色付き、そのピークを迎えるのが11月下旬、宿泊施設としては絶えず人々で賑わっている状態が望ましいのでしょうが、例年11月は利用者が少なく、ひっそりと落ち着いた佇まいとなります。そして人々に代わって自然が主役となり、東山荘を様々な秋色で明るく暖かく包み込んでくれます。

私は最も心安らぐこの時期の東山荘がとても好きです。

表紙写真と「つぶやき」
プログラム主任　白鳥　裕之

季節の一品
～厨房だより～
マロンババロア

●材料
（ココット型10個）

卵黄	3個
グラニュー糖	70ｇ
牛乳	300cc
生クリーム	200cc
ゼラチン	10ｇ
栗甘露煮(市販品)	90ｇ
バニラエッセンス（あれば）	適量

●作り方

1) ゼラチンは水に漬けてふやかし、栗は細かく刻んでおく。
2)鍋に牛乳とグラニュー糖の１／２量を入れて火にかける。
3)ボールに卵黄と残りのグラニュー糖を入れて泡立て器でよく混ぜる。
4)②が沸騰直前になったら③に加えて裏ごす。
5)①を弱火にかけ、多少とろみがついたらゼラチンを加えて溶かす。
6)⑤を氷水に当てて冷まし、濃度がつき出したら生クリームの8分立てと刻んだ栗を加えて型に入れ、冷蔵庫で冷やし固める。

お好みのフルーツを添えて、チョコレートソースが合います！！

主催プログラムのごあんない

●かいき!!月食キャンプ●

日　程　12月10日(土)～11日(日)　1泊2日
対　象　どなたでもどうぞ
参加費　こども8、000円（3歳以上小学生まで）
おとな10、000円（中学生以上）
内　容　12月10日は満月！そして皆既月食が見られる日です。夕方の月の出をみんなで仰ぎ、皆既月食をみんなで楽しもうではありませんか！

冬のきーんと冷たい空気の中、みんなで月を仰ぎましょう！

●第46回　年末年始家族パーティー●

日　程　12月30日(金)～1月4日(水)
内　容　大きな家族の集まりのような温かい雰囲気のプログラムです。期間中は自由に選んでご参加いただく、たくさんのアクティビティを用意しています。朝日に染まる富士山を眺めながらのウォーキング、書初めや初釜で日本の伝統文化に親しんだり、様々なクラフト、ネイチャープログラムも満載です。

※詳しくは別紙パンフレットを ご覧下さい。

みんなが家族の一員です
大きなお家「東山荘」へ
おかえりなさい！

お申し込み・お問い合わせ
資料のご請求は…

日本YMCA同盟　東　山　荘
〒412-0024　静岡県御殿場市東山1052
ＴＥＬ　０５５０－８３－１１３３
ＦＡＸ　０５５０－８３－１１３８
E—mail:tozanso@ymcajapan.org
ホームページ
http://www.ymcajapan.org/tozanso/

編集後記

日本中に大きな爪痕を残した台風は、東山荘でも猛威をふるいました。

大生り年でたわわに実っていた栗は色付く前に枝ごと折れ、むくげの木も大きく傾いでしまいました。大風は、大きな傷跡も残しましたが、一方で古くなった枝を整理したり、小さな子達の初めての栗拾いの体験にも一役買ってくれました。